

# 社会福祉協議会 川和地区だより第38号

令和元年7月20日

川和地区社協（川和地区社会福祉協議会の略称）ってなあに??

川和地区社協とは、地域の皆さんからの社会福祉協力金や年末たすけあい募金をもとに地域の福祉グループを下支えするボランティア組織です。



~~~~~ ご挨拶 ~~~~~

日頃より、地区社協の活動にご協力賜り、大変有難うございます。

川和地区は現在、高齢化が進み、高齢者の見守り・声かけ、健康に対する意識の向上など高齢化社会の課題解決が求められています。

具体的には隣近所の情報をもとに、高齢者の見守り活動を充実させるため、“川和連合ふれあいたい”等を中心とした地域に根差した活動を展開していこうと思っています。

さらに子育て世代や障害者支援の継続を目的として、加賀原ケアプラザ、民生児童委員、保健活動推進員、友愛活動員、等と連携し、さまざまな地域の問題/課題を収集して解決していきたいと考えております。地域と密着し、親しみやすく、だれでも一緒に参加できるボランティア組織として、ぜひとも地域の皆様のご理解、ご協力とご賛同をよろしくお願い申し上げます。

川和地区社協会長 立元道彦

## ◇川和地区社協総会・報告◇

\*4月27日（土）に開催されました川和地区社協総会にて、平成30年度事業報告及び令和元年度事業計画が提案され承認を受けました。

- 平成30年度会計報告・・・収入は社協協力金と区社協助成金の減少により、予算より10万円減少しました。  
支出は繰越金の減額にて対応しました。
- 平成30年度事業報告・・・昨年12月の役員会での討議により以下の重点項目となりました（社会福祉協議会川和地区だより#37参照）。  
①川和連合ふれあいたい活動の充実

②『つながり♡ネット』の構築・充実

③平成30年度ボランティア団体への補助金交付

〈 これらの内容については都筑区社協 HP「地区社協のご案内」でご覧いただけます。〉

<http://tuzuki-tikushakyo.sblo.jp/article/185274025.html>

## 📌令和元年度の具体的な取り組み

◎重点1・・・第3期地域福祉保健計画の進捗のフォロー

5月の『地域懇談会』にて具体的な項目の方策について討議

◎重点2 (1)・・・見守り活動に対応する組織づくり

川和連合を中心とした各分野の組織の連携強化

(2)・・・見守り活動への援助

年末たすけあい、つづきふれあい助成の有効活用

(3)・・・川和連合ふれあいたいの活動の充実化

(4)・・・つながり ネットの充実

地域の情報交換の場、問題解決の場として支援体制構築の強化

(5)・・・さらなる地域福祉活動への援助→ちょぼら、送迎システム等への取り組み

## ◇社会福祉協力金へのご協力(募金)を！！◇

地区社協では、福祉活動資金確保の一環として町内会、自治会を通じて「社会福祉協力金」をお願いしています。地区社協への還元率は赤十字募金、赤い羽根募金、年末たすけあい募金と比較して高く、その配分は地区社協収入の約 1/4 を占めています。残念ながら、昨年度の実績は、757,729 円の還元で、前年度比較▲53,915 円でした。

地区社協では、協力金の還元金をもとに、以下の福祉活動、地域ボランティア活動を支援し、有効活用されて地域福祉に役立つものと考えています。

\*高齢者支援・・・おたのしみ会・リハビリ教室、各地域高齢者クラブ、一人暮らし高齢者支援

\*子育て支援・・・あそびの広場、かわわ☆わ〜い、らっこの会、川和幼児クラブ、川和台幼児クラブ

\*地域ボランティア活動・・・ミマモール、川和踊りの会

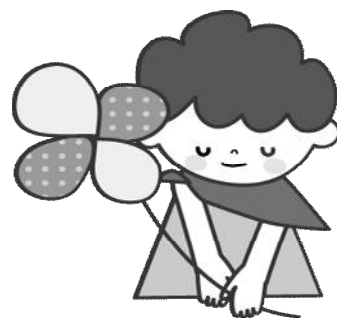
町内会、自治会の役員の皆さまには、趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

## ◇「地域福祉保健計画」をテーマに地域懇談会が開催！！◇

5月25日(土)、「地域福祉保健計画」をテーマに地域懇談会が開催されました。例年どおり地区社協を中心に、連合町内自治会、民生児童員、川和連合ふれあいたい、高齢者クラブ、地域の学校や福祉施設関係者等さまざまな関係者が一堂に会し、後2カ年を残した第3期川和地区福祉保健計画の進捗をまとめながら、その評価および2022年から始まる第4期川和福祉保健計画の策定に繋げる項目についても討議しました。

特に高齢者が楽しみながら活動し、安心して住める地域づくり、多世代交流の機会づくりについての関心が高く、活発な意見が出されました。第4期川和福祉保健計画策定のためにさらに討議を

繰り返し構築していきます。



## ◇川和地区社協研修会を実施しました！◇

2月21日（木）、川和地区社会福祉協議会・川和連合ふれあいたい・川和地区民生児童委員協議会の合同研修会が開催されました。本年度は公益財団法人日本盲導犬協会が運営する「日本盲導犬総合センター」（静岡県富士宮市）を訪問しました。

スタッフによるPR犬の実演のもと、盲導犬の仕事や役割、訓練を行う様子を見学しました。

- ① 盲導犬はリードの場合はオフであり、ハーネスを装着しているときは仕事をしています。仕事中は、触る・声を掛ける・餌を与える等は気が散るので厳禁です。
- ② 盲導犬は曲がり角、階段、縦横の3つの障害物を動作で教えるよう訓練されています。
- ③ 道順や信号を判断することは盲導犬に無理なので、視覚障害者の方が指示をします。

町でみかけたら「何かお手伝いすることないですか」と聞くことが重要だと認識しました。また「日本盲導犬総合センター」は、寄付によって運営されています。寄付の協力や活動のPRをして欲しいとのお願いがありました。



街で盲導犬に出会ったら…

さわらない

声を  
かけない

目をあわせて  
気をひかない

たべものを  
あたえない



これらの内容については都筑区社協 HP「地区社協のご案内」でご覧いただけます。

<http://tuzuki-tikushakyo.sblo.jp/article/185682417.html>

## ◇地域ボランティアに助成金の授与式◇

川和地区社協では、毎年地域福祉を担う地域ボランティア、見守り活動団体に、円滑なボランティア活動を推進するための補助金を授与しています。

\*本年度は6月22日(土)に下記の9団体に授与式を行いました。

- 川和踊りの和(代表 鮫嶋早知子様)・・・月2回70歳以上の高齢者対象  
脳トレ、認知予防体操等
- ミマモール(代表 高橋市郎様)・・・川和小通学路における登下校の見守り、通行指導等
- 川和幼児クラブ(代表 松井江奈美様)・・・毎週木曜 未就学児と親の育児サークル  
工作、誕生会、公園遊び、遠足等
- 川和台幼児クラブ(代表 秋山友紀子様)・・・毎週火曜 親子リクリエーション、工作、読み  
聞かせ等
- ラッコの会(代表 青木洋子様)・・・月1回第2月曜。保健活動推進員のOBによる団体。  
季節の伝統行事をとりいれた川和地区赤ちゃん会のサ  
ポート。
- あそびの広場・・・(代表 木村博子様)・・・月1回第4金曜 未就学児のサロン活動  
情報交換、子育て相談等
- かわわ☆わーい・・・(代表 木村博子様)・・・月1回 第1木曜 親子の遊び場、子育て相  
談、情報交換等
- おたのしみ会・・・(小林達夫様)・・・月1回 70歳以上一人暮らしの昼食会。高齢者の  
お互いのコミュニケーションの場
- リハビリ教室(小林達夫様)・・・月1回 身体機能回復、維持のため専門家による指導やア  
ドバイス。心のケアにも効果

## ◇川和地区社会福祉協議会事務局からのお知らせ◇

川和地区社協では令和元年前半に下記のイベントを計画しています\(^o^)/♪♪

- ・区社協による川和地区社協ヒヤリング(6/22)
- ・川和連合ふれあいたいサロン(7/15)
- ・川和連合ふれあいたいによる川和台夏祭りへの出店(8/24)



なお、本年度より毎年12月に開催されている都筑区福祉大会は、2月に開催される「つづき あい フォーラム」に統合されます。

### 次回川和地区だより第39号は11月頃の発行予定です。

川和地区社協へのご意見・ご要望等は事務局までご連絡いただけたら幸いです。

【連絡先：090-2456-1141 山口(都筑が丘II)、090-2145-0361 田島(都筑ヶ丘住宅)】